

鹿児島大学病院

病院の概要

所在地 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
開設者 国立大学法人 鹿児島大学
開設年月日 昭和49年9月1日
病院長 石塚 賢治
病床数 680床
診療科目 心臓血管内科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・甲状腺外科、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、心身医療科、泌尿器科、神経科精神科、小児科、小児外科、産科・婦人科、整形外科・リウマチ外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、頭頸部外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科
医師数 常勤医225名、医員234.6名 合計459.6名 (令和7年4月1日現在)
指導医数 130名 (令和7年4月1日現在)
1日平均外来患者数 1209.8人 (令和6年度実績)
1日平均入院患者数 479.6人 (令和6年度実績)



臨床研修プログラムの目的と特徴

鹿児島大学病院の研修プログラム「桜島」は、下記のような目的と特徴があります。

- 鹿児島大学病院と多数の協力病院を組み合わせてローテーション可能な合同（ペナシカ）プログラムです（大学病院のみも可能）。
- 研修医の希望を最大限に考慮し、自分に合ったローテーションの作成が可能で、自由度の高いプログラムです（オーダーメイドプログラム）。
- 研修開始後も、研修状況や進路に応じたローテーションの変更が可能で、柔軟性の高いプログラムです（フレキシブルプログラム）。
- 多数の協力病院を組み合わせることにより、一次医療から三次医療まで幅広く研修できます。
- 離島・へき地医療など鹿児島県の地理的特徴を生かしたプログラムに加え、北海道で2ヶ月間の地域医療研修を選択することができます。
- 厚生労働省の提示した到達目標を達成し、2年間で研修終了ができるようサポートします。
- 2013年に開設された総合臨床研修センターに多数のシミュレーターを配置し、研修環境も充実しています。
- 専任の教員・事務職員が、安心・快適に研修ができるよう親身になりバックアップします。
- 後期研修医や専門医・医学博士取得などの多様なキャリア形成支援に対応します（新・専門医制度にも対応しています）。
- 院内保育園の設置や研修中の妊娠・出産、復職など女性医師支援に対応します。

臨床研修スケジュール

プログラム名：【桜島】

プログラム	1年目 (52週)						2年目 (52週)					
	内科 (24週)	救急 (12週)	外科 (8週)	小児科 産婦人科 (12週)	精神科 地域医療 一般外来	選択40週	内科 (24週)	救急 (12週)	外科 (8週)	小児科 産婦人科 (12週)	精神科 地域医療 一般外来	選択36週
大学管理コースA1												
大学管理コースA2												
大学管理コースA3												
基礎研究医プログラム												

・大学病院及び協力病院等で組み合わせローテーションを作成します。
・研修の到達目標を達成するために、A 1コースについては、外科8週(外科基本6領域4週+外科系領域4週)及び精神科4週、小児科4週、産婦人科4週、A 2コースについては小児科12週、産婦人科4週、精神科4週、外科4週(外科基本6領域4週)、A 3コースについては産婦人科12週、小児科4週、精神科4週、外科4週(外科基本6領域4週)が必修となります。
・選択科目の中で、地域医療・地域保健を選択することができるようになります。
・基礎研究医プログラムの基礎医学教室については、16週以上24週未満の間で行うことができます。
・基礎医学教室への配属については、臨床研修の終了要件を満たしたところで配属することになります。

研修協力病院・研修協力施設

研修協力病院 鹿児島市立病院、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター、公益社団法人鹿児島共済会南風病院、公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院、鹿児島市医師会病院、鹿児島県立大島病院、鹿児島厚生連病院、公益財団法人慈愛会今村総合病院、独立行政法人国立病院機構指宿医療センター、社会福祉法人恩賜財團済生会川内病院、出入糸合医療センター、独立行政法人国立病院機構南九州病院、霧島市立医師会医療センター、肝臓部医師会立病院、公益財団法人慈愛会山口病院、鹿児島県立姶良病院、公益社団法人川内市医師会立市民病院、県民健康プラザ鹿屋医療センター、卓翔記念病院、垂水市立医療センター・垂水中央病院、社団法人大島郡医師会病院、公立種子島病院、出水郡医師会広域医療センター、信州大学医学部附属病院、鹿児島市立病院、恒心会おぐら病院、小林市立病院、鹿児島赤十字病院、社会医療法人綠泉会米盛病院、医療法人青仁会池田病院

研修協力施設 薩摩川内市下町診療所、肝付町立病院、鹿児島県加世田保健所、鹿児島県川薩保健所、鹿児島県姶良保健所、鹿児島県宇宿保健所、鹿児島県名瀬保健所、鹿児島市保健所、瀬戸内町へき地診療所、聖路加国际病院、医療法人天会鹿児島こども病院、医療法人かわくはん科婦人科のぼり病院、医療法人愛育会愛育病院、社会医療法人聖医会サザン・リージョン病院、社会医療法人義順顕影会種子島医療センター、長島町国民健康保険施設診療所、曾於医師会立病院、奄美中央病院、徳之島診療所、種子島産婦人科医院、枕崎市立病院、宮上病院、J A北海道厚生連徳之島安厚生病院、国民健康保険東川立川町立診療所、社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院、利尻島国保中央病院、留萌市立病院、栄町アミリーフクリニック、寿都町立寿都診療所、町立中標津病院、奥尻町国民健康保険病院、薩摩郡医師会病院、うえの内科循環器内科クリニック、坊津病院

新専門医研修プログラム

内科・外科・総合診療・救急・小児科・産婦人科・脳神経外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・精神科・リハビリテーション・麻酔・病理・臨床検査部

病院のアピールポイント

鹿児島大学病院は、県内で唯一の大学病院であり、ハイブリッド手術室や手術支援ロボットの設置、遠隔医療などの高度かつ先進的医療を提供しています。加えて離島やへき地を多く抱えていることから鹿児島県の「最後の砦」として地域医療を守るという役割を果たしています。

大学病院ならではの先端医療に精通した経験豊富な指導医が、研修医一人一人を丁寧に指導します。また多くの病院と協力して、離島での地域医療研修から総合病院での一次・二次医療や都心の救急救命センターでの救急医療など多彩な施設から個人の目的に合わせたテラーメイドのローテーションを組むことが可能です。実践的な力をつけるために、中央採血室における採血、研修医のファースト・コール制を2024年度から開始しました。2025年度には、研修医による研修医のための勉強会を始めます。

病棟の最上階にある研修センターには、研修医専用の部屋に個人専用デスクを設置しています。桜島が一望できるラウンジルームでのリラックススタイルを過ごすことができ、快適な研修環境が確保されています。UpToDateは院内自宅でも閲覧することができる、学習環境が向上しています。敷地内にはレジデンティハウス（13戸）もあります。

初期研修から専門研修に向けてシームレスの学習を継続することに加えて、先輩医師の大学院、留学などへの幅広い活躍を間近に目にしてすることで、将来自分の姿をイメージしながら「桜島プログラム」でじっくり研修しましょう。



総合臨床研修センター長
岡本 康裕



ホームページ

初期研修医処遇

身 分	非常勤職員	加入保険	健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険：適用
基 本 納	1年次 38万円程度（手当等含む） 2年次 38万円程度（手当等含む）	当直手当 通勤手当	15,000円／回（月4回まで） ～31,600円（上限）※交通機関の場合は運賃の相当額
賞 与	1年次 なし 2年次 なし	住居手当	なし
出 張	診療科によっては出張旅費支給有り	宿 舎	あり 20,000円／月
休 暇	有給休暇 1年次（6ヶ月勤務経過後）10日、2年次11日、 リフレッシュ休暇3日、夏季休業3日、冬季休業1日	その他の手当	臨床研修手当：15万円／月 希望者は救急分野の宿直日直可能（宿直直手当別途）
休 暇	リフレッシュ休暇3日、夏季休業3日、冬季休業1日	そ の 他	病院見学は随時受け付けています

募集要項

募集定員 50名

応募資格 第120回医師国家試験を受験予定の者及び既卒者で、令和7年医師臨床研修マッチングに参加する者

応募締切 基礎研究医 令和7年5月末予定

第1回：令和7年7月4日

第2回：令和7年8月5日

試験日程 基礎研究医 令和7年6月予定

第1回：令和7年7月26日（土）

第2回：令和7年8月18日（月）

試験内容 書類審査及び面接

交通案内



応募連絡先

所在地 〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

担当部署 鹿児島大学病院 総務課 臨床研修係

電話 099-275-6673

FAX 099-275-6846

E-mail rinshou@kuas.kagoshima-u.ac.jp

U R L https://www.hosp.kagoshima-u.ac.jp/sotsugo/